

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BT120／コミュニケーション・リサーチ (Communication Research)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	コロナ後のコミュニケーション・都市・観光		
担当者名 (Instructor)	菅野 遼(KANNO RYO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS3400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

本講義では、現代都市論や観光学における代表的な理論や研究アプローチを紹介しながら、「コロナ以後」/「ウィズ・コロナ」の社会における多種多様なコミュニケーション実践を分析・考察することを目標とする。受講生は、経営学を含む人文社会学の学術領域を探求する上で必要不可欠となる研究手法や批評理論を学習し、それによって論理的思考や批判的思考、社会的事象を多角的に捉える視野を養うことができる。

This course introduces a number of representative works and distinctive research approaches in the fields of contemporary urban studies and tourism studies, providing students with analytical frameworks to understand various communicative practices in what can be called "post-corona" or "with-corona" society. Students can learn basic research methodologies and critical theories that are indispensable for exploring the fields of humanities and social sciences including business studies. In so doing, this course aims to enhance students' logical thinking, critical thinking, and multiple perspectives to understand social phenomena.

授業の内容 (Course Contents)

本講義では、現代都市論や観光学における様々な研究手法や理論的概念を紹介・議論する。ゼミ論文の執筆やその他の研究活動へ向けて実践的かつ基礎的な知識・技術・経験を得るために、資料検索や文献リストの作成の仕方なども学習する。講義は基本的に、レクチャーやディスカッション、小テストや中間・期末レポートなどで構成される。

This course discusses a variety of research methods and theoretical concepts that have been developed in contemporary urban studies and tourism studies. To supports students' academic experience of writing seminar papers and research essays, this course also provides students with practical knowledge on identifying useful books, journal articles, and other textual resources as well as on crafting a reference list. The course consists of weekly lectures, class discussions, comprehension tests, a mid-term paper, and a final paper.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション & 第1章:都市を論じるとはということか (清水幾太郎『東京』)
2. 第2章:都市をめぐる大きな物語 (ルイス・マンフォード『歴史の都市 明日の都市』)
3. 第3章:スペクタクルと存在論 (大室幹雄『劇場都市 -- 古代中国の世界像』)
4. 第4章:日本の都市とは何だったのか (柳田国男「都市と農村」)
5. 第5章:市民の共同体としての都市 (マックス・ヴェーバー『都市の類型学』)
6. 第6章:現代都市の発見 (松本康『都市社会学セレクション第1巻 -- 近代アーバニズム』)
7. 中間まとめ & 小テスト1
8. 第7章:都市という危険な領域 (レイ・シェヴァリエ『労働階級と危険な階級 -- 19世紀前半のパリ』)
9. 第8章:過去と未来の間で (フランソワーズ・ショエ『近代都市 -- 19世紀のプランニング』)
10. 第9章:舞台としての都市 (吉見俊哉『都市のドラマトウルギー』)
11. 第10章:都市と都市論のポストモダン (デーヴィッド・ハーヴェイ『ポストモダニティの条件』)
12. 第11章:20世紀のアーバニズム (レム・コールハース『錯乱のニューヨーク』)
13. 第12章:書を持って街へ出かけよう (吉見俊哉・若林幹夫『東京スタディーズ』)
14. 期末まとめ & 小テスト2

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示や授業で使用する参考教材・PowerPoint ファイルの共有は、履修登録完了後に「Blackboard」上で履修者に対して行う。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

授業参加度(質疑応答・議論・グループワーク、リアクションペーパーなど)(20%) / 小テスト(2回)(30%) / 中間レポート(Mid-Term Report)(20%) / 最終レポート(Final Report)(30%)

2/3 以上の出席をしていない場合は、単位取得不可

テキスト(Textbooks)

1. 若林幹夫、2014、『都市論を学ぶための12冊』、弘文堂 (ISBN:9784335551611)

参考文献(Readings)

1. 遠藤英樹、2021、『アフターコロナの観光学』、新曜社 (ISBN:9784788517479)
2. 門林岳史・増田展大、2021、『メディア論』、フィルムアート社 (ISBN:9784845920068)
3. 中筋直哉・五十嵐泰正、2013、『よくわかる都市社会学』、ミネルヴァ書房 (ISBN:9784623065059)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

本講義は PowerPoint を使用した講義形式を採用し、映像資料や現物資料なども適宜活用する。課題や授業に関わる情報は講義内や「Blackboard」上で告知し、参考資料の配布なども「Blackboard」を通じて行う予定である。また、小テストなどの課題については、次回授業などで適宜フィードバックを行う。

注意事項(Notice)